

Student

この講義では最新の認知脳科学について聞くことができる。理Ⅲ生をはじめ文理問わず人気で、受講者数は教養前期課程で5本の指に入るほどである。記憶はどのように再現されるのか。あるいは忘れ去られるのか。意識、無意識とは何か。脳のニューロンやシナプスといったものがそこでどんな役割を果たしているのか。つまり、知覚や意識のような現象にはどのような脳のメカニズムが働いているだろうかという視点が講義の中心となっている。この講義を聞き続ければ、脳についてのことを少しわかったような気になる。酒井先生のユーモアある講義と、スライドなどを多用した講義方法、そして「脳のメカニズム」という講義内容は学生を飽きさせず、受講登録者数の多い大抵の講義は4〜5週で聴講者が減っていくなか、この講義だけは例外的に最後まで教室が聴講者であふれている。

Teacher

『認知神経科学』のテーマは、心のはたらきを脳から理解することです。知覚—記憶—意識のメカニズムについて、最前線の科学の成果を紹介します。認知神経科学は、物理学・情報科学・生理学・神経科学・心理学・哲学・言語学などを基礎としていて、理系と文系が融合する学際的な学問です。講義では、デモンストレーションがたくさんあり、授業中の質問を歓迎していますので、積極的に参加してください。評価は、筆記試験の成績で行います。講義で用いるテキストは、「心にとむ認知脳科学—記憶と意識の統一論」(岩波書店)です。



心にとむ認知脳科学

記憶と意識の統一論

酒井邦嘉 著

by Kuniyoshi Sakai



岩波書店